

福生市議会だより

FUSSA

No.186
発行 福生市議会
平成25年1月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成24年 第4回定例会

全保育園が民営化 私立すみれ保育園園舎が完成

主な内容

議会日誌	1面
可決された案件	2面
一般質問	3~6面
議会の動き	5面
委員会の審査	7面
行政視察報告	7~8面
特別委員会活動	8面



新しい遊具が設置された日光橋公園で遊ぶ子どもたち

平成24年第4回定例会は、12月4日から21日の18日間開催され、18人の議員が一般質問を行った後、条例の一部改正・廃止、補正予算、行政委員の任命・選任等9議案、諮問1件、特別委員会中間報告の提言書などの審議が行われました。

本会議の経過

▼1日目(4日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定しました。

▼2日目(5日)は、6人の議員が、脳活学習に

▼3日目(6日)は、5人の議員が、不妊治療に

▼4日目(7日)は、2人の議員が、伝統文化を子どもたちに継承する事業の推進について、米軍横田基地についてなどの一般質問を行い、18人の議員の一般質問が終了し、続いて、市長から提出された議案の提案理由の説明後、議案8件が所管の委員会に付託されました。

▼5日目(21日)は、最終日で、委員会へ付託された議案8件を可決し、新たに提出された市長提出議案1件と諮問1件を慎重審議の上、即決で同意・答申しました。また、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が指名推選により行われました。

また、災害に強いまちづくり特別委員会委員長からの中間報告がされ、市への提言書が可決となり、今定例会を終了しました。

「議会日誌」

15日	14日	8日	6日	5日	2日	▼11月	30日	25日	23日	19日	18日	17日	9日	4日	▼10月	2日	16日
査委員研修会	福生病院組合議会定例会	瑞穂斎場組合議会定例会	建設促進協議会第3委員会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	西多摩地区議長会議員研修会・定例会議	航空自衛隊横田基地視察	東京たま広域資源循環組合議会ブロック代表者会議・定例会	相談役会議(27日まで)	横田基地対策特別委員会行政視察(24日まで)	横田基地対策特別委員会行政視察(24日まで)	茨城県坂東市視察来市議会運営委員会	総務文教委員会行政視察(18日まで)	全国市議会議長会研究フォーラム(11日まで)	市民厚生委員会行政視察(5日まで)	建設環境委員会行政視察(3日まで)	建設環境委員会行政視察(3日まで)	財政援助団体等監査
26日	18日	14日	12日	11日	7日	6日	5日	4日	29日	28日	27日	22日	22日	20日	20日	20日	20日
例月出納検査	第4回定例会5日目	災害に強いまちづくり特別委員会	市民厚生委員会	総務文教委員会	横田基地対策特別委員会	第4回定例会4日目	第4回定例会2日目	第4回定例会1日目	例月出納検査	第2回臨時会	西多摩衛生組合議会定例会	東京都清瀬市視察来市議会運営委員会	東京都清瀬市視察来市議会運営委員会	東京都市議会議長会定例会	全国市議会議長会基地協議会理事会・衆参基地関係委員会委員との要望懇談会	全国市議会議長会基地協議会理事会・衆参基地関係委員会委員との要望懇談会	東京都市議会議長会定例会

可決された案件 (要旨)

●全員賛成 ▼賛成多数

◎福生市組織条例の一部を改正する条例

現在、生活環境部が担当している定住化対策や人口減少問題についての所管を、平成25年4月から企画財政部に移管するため及び第4期福生市総合計画の推進を図るとともに、

地域主権改革に対応すべく、行政運営の効率化を図るため、組織改正をするもの。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

すみれ保育園の民営化に伴い、市立保育園嘱託医、市立保育園嘱託歯科医及び市立保育園保育士嘱託員の報酬を廃止するとともに、報酬が時間額により定められている非常勤の特別職の職員の区分を一部統合し、一般事務に従事する嘱託員の区

分を設定するために改正するもの。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

東日本震災からの復興に関し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律の施行及び地方税法の一部改正に伴い、個人住民税の均等割の税率の特例を定めるほか、行政手続条例の適用除外規定を改めるなど、関係規定の整備を行うために改正するもの。

▼福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険事業では、今後の医療費の増加等によりさらに厳しい運営状況が見込まれ、財源不足見込額を一般会計からの繰入金に求めることが大変難しいため、国民健康保険税の基礎課税額の算定について、資産割額及び世帯別平等割額を廃止するとともに、基礎課税の所得割額及び被保険者均等割額を改定するなど、必要な規定を整備するもの。

◎福生市保育所条例を廃止する条例

公立保育園対策調整

会議において、公設公営保育園の民間への移管を段階的に進める方向性が打ち出されたことに伴い、平成25年4月1日から市立最後のすみれ保育園を民営化するため、福生市保育所条例を廃止するもの。



▲廃園となる現在の市立すみれ保育園

◎福生市専用水道事務等の事務委託について

地域主権推進一括法により、平成25年4月1日から東京都より専用水道事務等が福生市に権限移譲されることになるが、その効率性を考慮し、東京都へ事務委託を行うもの。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第3号)

歳入では、国有提供施設等所在市町村助成交付金等の確定及び国庫支出金、都支出金の増額等があり、歳出では、民生費の扶助費の増額及び下水道事業会計繰出金の減額、財源

調整による予備費の増額等があったことから、

歳入歳出予算を補正する必要が生じたもの。歳入歳出予算の総額にそれぞれ9499万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ227億4821万6千円とするもの。

◎平成24年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)

平成24年第2回定例会において、議会の同意を得た熊川福東地区の立川第二排水区雨水幹線整備事業の事業費について、歳入では国庫補助金1億524万2千円の減額等があり、

歳出では下水道整備費2億1232万7千円の減額等があったことから、歳入歳出予算を補正する必要が生じたもの。歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1268万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ18億619万5千円とするもの。

◎福生市教育委員会委員の任命について

宮城真一氏の任期満了に伴い、新たに川越孝洋氏を教育委員会委員に任命することに同意するもの。

◎福生市選挙管理委員会委員の選挙

議会で井上武氏、木村勝代氏、平田ヒロ子氏、野島征三氏の4名を福生市選挙管理委員会委員として選挙(指名推選)で選出。

◎福生市選挙管理委員会委員補充員の選挙

議会で第1順位に岩崎澄雄氏、第2順位に佐藤和男氏、第3順位に小野澤正子氏、第4順位に原紀子氏を福生市選挙管理委員会委員補充員として選挙(指名推選)で選出。

◎人権擁護委員候補者の推薦に関する意見聴取について

島田しのぶ氏が任期満了となるが、引き続き人権擁護委員として、同氏を法務大臣に推薦することに意義のない旨を答申。

◎災害に強いまちづくり特別委員会中間報告について

平成23年5月に設置された災害に強いまちづくり特別委員会の調査研究により、市への提言書を提出するため、中間報告書としてまとめたもの。最も緊急を要すると考えられた被災地復興支援に関することから

検討を開始したが、ボランティアアバスの運行やさらなる物的支援について、さまざまな角度から検討した結果、現段階では特に被災地復興支援については、市に提言する内容はなしとし、また、東京都の地域防災計画見直しで示された立川断層帯地震による震度7を想定した対策も含め検討する中で、大地震による被害を最小限にとどめ、復興を着実に進めるには地域ごとの自主防災組織の強化が最も大切であることが確認された。

自助、共助、公助の三つの柱ごとに課題を整理し、調査研究を進めた結果、「新たな視点での福生市地域防災計画の見直し」では10項目16施策を、「災害に強いまちづくり」に関して調査・研究し、市民生活の安全安心のための措置」では12項目35施策を提言している。

『臨時会が開催されました』

11月30日に平成24年第2回臨時会が開催され、議案1件の審査を行い、原案のとおり可決しました。主な内容は、次のとおりです。

◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

福生市の一般職の職員の給与体系は、東京都の給料表と諸手当を基本としていることから、東京都の給与改定に準じ、住居手当の月額及び給料表等を改定し、引き続き東京都に準拠するとともに、公民較差の解消を図るために、平成24年12月期の期末手当の支給割合を改定し、平成24年12月1日を施行期日として本条例を改正するもの。

討論

●福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■反対

賦課方式を4区分から2区分に改めたことにより、所得割でも均等割でも大幅な引き上げとなっており、国保税の軽減措置から引き上げられる世帯には引き上げ額が重くのしかかる。市民の厳しい現実を考えれば、むしろ一般会計の繰り入れを増やして値下げするべきであり、反対する。

■賛成

歳出の保険給付費が大幅な伸びを示す一方、歳入の保険税収の伸びはわずかで、国保の事業運営は厳しい状況にある。今回、賦課方式を2方式に統一することは、国保事業の広域化を見据えたものであり、切りかえは妥当である。低所得者に対する軽減措置も継続して行っており、賛成する。

■賛成

保険給付費の増加に伴う赤字を補填するため、一般会計からの繰入金、26市でも指折りの



交通弱者の足として活躍する福祉バスの現状と課題

乙津 豊彦 議員

質問 福祉バスの本格運用から2年半を経過し、登録者、利用者も順調に伸びているが、問題点はあるか。また、運行に関する評価、見直しの時期について、計画はあるか。

市長 福祉バスの乗車人数は増加しており、高齢化率の増加とともに、利用者の増加傾向は続いていくものと思われる。課題としては、午前便と午後便によって乗車率にばらつきがあることや、コースにより停留所の数に差異があるため乗り継ぎが難しいことなどが

挙げられる。平成25年度中に、運行コースや運行時間、便数などを検証する計画である。



▲福祉バス（熊川コースもくせい号）

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、2月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

税外収入の確保と安全安心の取り組みについて

青海 俊伯 議員

質問 公共施設の自動販売機の契約見直しによる税外収入の確保と、AEDや緊急情報通知機能付き自動販売機の設置について、どう考えるか。

市長 平成25年度中に、公共施設の自動販売機はすべて契約を見直し、使用料と売上高に一定乗率を掛ける形で使用料収入を確保する。

また、更新時期を迎えるAEDもあることから、AED設置型、災害対応型など、緊急時にも対応できる機能性を重視した自動販売

機を設置していきたい。



▲AED設置型自動販売機

スポーツ祭東京2013本大会に向けた市の取り組みは

申田 金八 議員

質問 平成25年の国民体育大会では、リハーサル大会の経験を生かし、市を挙げて大会を成功させる必要があるが、その方策について伺いたい。

市長 ポロシャツやポスターなど、さまざまなグッズを使ったり、「ゆりーと」と共に各種イベントに参加するなどして、国体のPRを行っている。平成24年度中に市内要所に国体PRラッピングシール等を施し、大会周知、開催気運の向上を図っていく。また、2会場の運営に対応できる職員を配

置し、多くのボランティアや協力団体のお力添えをいただいて、盤石な運営体制で臨みたい。



▲各種イベントでPRするゆりーと

脳を活性化させて学習の成果を上げる脳活学習の導入を

清水 義朋 議員

質問 岐阜県多治見市の全小・中学校で、朝学習の時間を利用して、タブレット端末などのICT機器を活用した脳活学習が行われているが、本市においてもこれを導入することはできないか。

教育長 平成23年度から、実物投影機やワイヤレス・ペンタブレット、授業用ノート型パソコン等を、各小・中学校に段階的に配備しており、活用事例も見られている。今後、朝学習において脳の活性化と集中力を養い、児童・生徒に基礎的・基本的な学力を定着

させるためのICT機器の活用についても研究していきたい。



▲脳活学習の様子（多治見市）

地域社会を支える町会、自治会の現状について

田村 正秋 議員

質問 町会、自治会は、地域社会を支える大変重要な存在であり、最近、その役割が再認識されているが、町会、自治会の活性化と加入率についてどのようにとらえているか。

市長 東日本大震災をきっかけに、普段からの地域住民同士の交流は重要なことであると私も認識しており、その役割は以前にも増して重要となっている。平成24年10月現在の加入状況は1万1,791世帯で、前年度比実質0.4ポイント減少している。今後も交付

金を活用して、町会、自治会の加入率の向上、活性化に引き続き取り組んでいきたい。



▲町会の一大行事である夏祭り

多摩川の河床を低くするためのしゅんせつの予定は

杉山 行男 議員

質問 多摩川の河床が高いので低くしてほしいとの要望が以前からあるが、しゅんせつの予定はあるか。

市長 多摩川沿いの17区市で構成する多摩川整備促進協議会を通じて、毎年国へ要望を行っている。その中で、全国屈指の都市河川である多摩川の治水・洪水対策の重要性を訴え、洪水時の安全な流れの確保を強く要望している。また、自然再生の取り組みとして、多摩川本来の河原を復元するために、流れを阻害している樹木の伐

採や土砂の除去を行っているが、これにより結果として河床が少し下がることになる。



▲南田園地区で行われている護岸工事

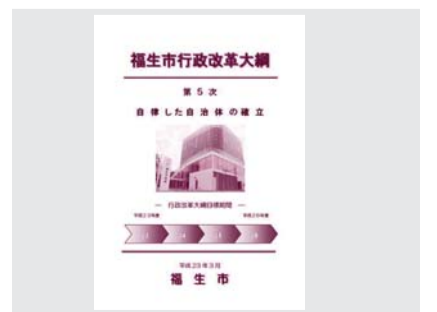
将来に負担をかけない財政の健全化方策は

柳川 英司 議員

質問 住民サービスの提供やまちづくりを将来にわたって担っていくためには、より一層の行財政基盤の充実が必要であるが、将来に負担をかけないように、財政の健全化をどのように推進していくのか。

市長 今後も一般財源の増加が見込めない状況を考慮すると、市民ニーズや時代に合わない事業などは聖域なく見直すことが必要となる。このような現状と課題を踏まえ、第5次行政改革大綱に基づき、自律性の高い財政運営や基礎

的財政収支を赤字にしない財政運営を行い、今後も財政運営の健全化を目指していく。



▲第5次行政改革大綱

不妊治療に市独自の助成を行う考えは

岩崎 百合子 議員

質問 不妊治療の中でも、人工授精や体外受精等、高度な生殖技術には医療保険が適用されず、全額患者負担となるため、経済的理由から不妊治療をあきらめる夫婦も多い。都の助成制度はあるが、市独自の助成を行う考えはあるか。

市長 不妊治療は高額で、また何度も治療を受けることが必要な場合も多いことから、経済的負担は重いが、市独自の助成は難しい。東京都が助成制度を実施しており、助成対象とする治療回数が増

加や所得制限の緩和など、制度の充実が図られているので、周知に努めたい。



スクールゾーンの指定はどのように行われるか

原田 剛 議員

質問 小学校周辺のスクールゾーンは、どのような経緯で指定となるのか。また、一小通りはスクールゾーンであったと認識していたが、解除されたのか。

教育長 スクールゾーンの指定は、地域住民、保護者、学校からの要望を、市を經由して福生警察署へ提出し、東京都公安委員会に上申がなされた後、現場確認と審査を経て決定がなされ、市の交通安全対策の部署に通知が来て確認される。

教育次長 一小通りについて

は、警視庁に確認したが、スクールゾーンに指定、通知された経過はなかった。



▲子どもたちが通学する一小通り

米軍人の市内での奉仕活動について

大野 聡 議員

質問 11月4日にやなぎ通りで、米軍人と思われるグループが、大きなビニール袋を持って空き缶やペットボトルを拾っていたが、これはどのような活動なのか。このような奉仕活動は、多くの市民に理解してもらうよい機会ではないか。

市長 横田基地の軍人等有志27名による市内道路の清掃活動で、4月に続き2回目である。多くの投棄ごみが収集され、道路美化の観点からも大変感謝している。今回の活動は横田基地広報部から情

報提供があり、ホームページに掲載して市民へ周知を図った。



▲清掃活動を行う米軍人(横田基地公式HPより/撮影者 Sgt.Chad C.Strohmeier)

収納業務の一元化による行政改革を

末次 和夫 議員

質問 福生市は収納業務が所管で分かれているが、収納のノウハウを熟知している収納課に収納業務を一元化すれば、収納窓口の一本化や収納率の向上、業務の効率化による経費や人件費の削減などの効果が期待できるのではないか。

市長 第5次行政改革大綱や同推進計画で市税等の収納率向上対策を掲げており、平成23年度には収納部門の組織体制等の見直し、差押えに重点を置いた滞納整理など、計画的に対策を講じてい

るが、収納業務の一元化による人件費の削減効果等については精査する必要がある。



▲収納課の窓口

障がい者と支援者をつなぐヘルプカードの導入は

五十嵐 みさ 議員

質問 困っていることや手助けしてほしいことをうまく伝えられない障がい者と、どのように支援していいのかわからない周囲の人とを結びつける役割を持つ、ヘルプカードを導入する考えはあるか。

市長 ヘルプカードは、一見、障がい者とはわからない方が周囲に助けを求めるツールとして有効であり、必要性を強く感じている。障がい者への理解の促進や安心のまちづくりにも寄与するものである。先進事例を参考に福生市

独自の工夫をして、ヘルプカードの作成と平成25年度中の導入に向けて努力していく。



▲ヘルプカード(見本)

道路や公園の維持管理に対する市の考え方は

武藤 政義 議員

質問 市として、道路、公園について、どのように考えているか。また、維持管理はどのようなことを心がけて進めているのか、伺いたい。

市長 平成24年3月に策定された福生市都市計画マスタープランでは、道路、公園といった都市基盤整備について、市民や事業者の皆様とともに、にぎわいと潤いがあり、だれもが住み続けたいまちを目指してまちづくりを進めていくことを、指針として示している。道路、

公園の維持管理は、これを実現するために、適時適切に行うことを基本的な考え方としている。



▲長いローラーすべり台がある福生公園

学校教職員の定期健康診断有所見者に対するフォローを

池田 公三 議員

質問 全国の学校で、先生方の病気休職者が他の公務員の職場と比べても異常に多いことが問題になっている。福生市においても、市役所の職員については、定期健康診断での有所見者に対し、医師による保健指導がなされているが、学校の先生方については、後日、受診結果が文書で示されるだけで、説明も指導もない。改善が必要と思うがどうか。

教育委員会参事 学校教職員の定期健康診断における有所見者に対するフォローは、特段実施して

いない。定期健康診断の結果を一覧にして、各学校長あてに通知している。



情報社会における市政の情報発信について

大野 悦子 議員

質問 現在、さまざまな情報ツールにより、手軽に行政情報が得られるようになっているが、広報ふっさ、ホームページ、携帯情報メールのそれぞれの特徴を伺いたい。

市長 広報ふっさは、担当職員が整理編集しており、少しでも読みやすくなるように心がけて工夫を重ねている。ホームページは、トップページへのアクセスが平成23年度は27万3,880件で、前年度比4.1%の増となっている。携帯電話のメール配信サービス「ふっ

さ情報メール」は、利用者が入手したい市政情報を、適時に、的確に提供するものである。



▲月2回発行される広報ふっさ

議会の動き

平成24年12月11日と12月18日に2回にわたって、第3次議会改革検討協議会が開催されました。

1回目の議会改革検討協議会で、決算審査特別委員会をいかに効率よく審査するかについて検討がされました。実際の決算審査特別委員会で効率化を目指した審査を検証した結果、次回からの予算審査特別委員会及び決算審査特別委員会では、開会・閉会時間を午前9時30分から午後5時15分の定時以内で実施することになりました。

また、検討課題となっている「議員定数の削減について」は、議員から、次のような意見が出されました。

- 1 多くの市民から減らした方がよいとの意見を聞くので、もう少し市民の声を聞いて、検討した方がよい。
- 2 定数削減については反対である。定数削減よりも、経費の節減に努力したらどうか。
- 3 普段の議員活動や議会について、何をしているのか多くの市民が知らないために、あまり活動していないように見えて、減らした方がよいと言っているように思える。もっと議員活動についてPRをする必要があるなど、さまざまな意見が出されました。

この件については、できるだけ早い時期に再度検討して、意見を集約していくということになりました。

福生市議会も応援しています！ スポーツ祭東京2013 第68回国民体育大会

今年はスポーツ祭東京2013開催の年！

平成25年、いよいよスポーツ祭東京2013が開催されます！！

スポーツ祭東京2013は、第68回国民体育大会（国体）と第13回全国障害者スポーツ大会（障スポ）の総称で、東京都での国体開催は54年ぶり、障スポは初めての開催となります。

福生市では、国体の正式競技であるソフトボール競技（成年女子）と、デモンストレーションとしてのスポーツ行事（デモスポ）であるシニアソフトボール競技を開催します。

第68回国民体育大会 正式競技

【競技】ソフトボール競技（成年女子）

【会期】平成25年9月29日（日）～10月1日（火）

【会場】福生野球場・市営競技場



第68回国民体育大会 デモンストレーションとしてのスポーツ行事

【競技】シニアソフトボール競技

【会期】平成25年10月5日（土）※予備日10月6日（日）

【会場】福生野球場



国体に参加しよう！

会場に行って観戦しよう！ ボランティアとして参加しよう！

福生市実行委員会では、ボランティアを募集しています。

皆さまの御協力をお願いします。

市民の力で国体を成功させよう！

●問合せ 国体推進室
☎042-551-1750

集団の中での障がい児保育が重要ではないか

阿南 育子 議員

質問 知的・身体・精神障がいの3障がいや発達障がいの子どもについて、赤ちゃんの時代から大人に至るまでトータルに特別支援を進めていくことが必要で、中でも集団の中での体験が大切だと思うが、どうか。

市長 障がいのある子どもの保育・療育は、一人一人の子どもの発達過程や障がいの状態を把握し、適切な環境のもとで、他の子どもとの生活を通して、ともに成長することが重要であり、子どもの状況に応じた保育を実施する観

点から、家庭や関係機関と連携した支援を行うことが大切であると考えている。



▲福生市子ども応援館

伝統文化を子どもたちに継承する事業の推進を

堀 雄一朗 議員

質問 伝統文化こども教室事業には多くの子どもたちが参加し、日本の伝統文化に親しんでいたが、この事業は、国による事業仕分けでなくなってしまった。伝統文化を子どもたちに継承する事業の推進について伺う。

教育長 伝統文化こども教室事業は廃止され、現在は文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業となっている。伝統文化の継承は子どもの健全育成や地域づくりに必要であり、子どもたちが豊かな人間性を涵養（かんよう）し、

地域の文化に誇りを持ち、次の担い手育成にもつながるよう、伝統文化の育成を図っていく。



▲福生市伝統文化発表会

オスプレイの飛来・訓練中止要請について

奥富 喜一 議員

質問 全国各地でオスプレイ配備反対の声が上がる中、オスプレイの横田基地飛来の可能性が高まっている。市の最優先の課題は福生市民の命と安全を守ることであり、市長にはこの立場で頑張ってお話を強めていただきたい。

市長 オスプレイの横田基地への飛来については、福生市や横田基地周辺市町基地対策連絡会として、国に対し文書により反対の申し入れをしている。横田基地第374空輸航空団に対する総合要請の折も、横田基地へ飛来しないよ

う、国からも米軍と折衝するよう強く要請している。



▲横田基地で行われたサムライサージ訓練

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

☎042-551-1523

○デイジー（DAISY）とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたらと思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像

※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ

(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

次回定例会のお知らせ

平成25年第1回定例会は、2月26日（火）から3月26日（火）までを予定しています。

◆本会議（予定）

午前10時開会

2月26日（火）～

3月1日（金）及び3月26日（火）

◆予算審査特別委員会（予定）

午前9時30分開会

3月5日（火）～8日（金）

◆常任委員会（予定）

午前10時開会

3月12日（火）～14日（木）

※本会議・委員会は傍聴できますので、お気軽にお越しください。

平成24年 第4回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 串田 金八 (一括)	1 平成25年度予算編成について (1)平成25年度の予算編成に向けての基本的な考え方及び施策について (2)第4期総合計画及び7つのまちづくりの目標について 2 スポーツ祭東京2013について (1)リハーサル大会について (2)本大会への取り組みについて	⑩ 武藤 政義 (一括)	1 職員の育成について (1)職員研修の体制について (2)職員配置について (3)能力開発支援について (4)人事考課制度について 2 道路、公園の維持管理について (1)維持管理における基本的な考え方について (2)補修等の具体的な内容について (3)職員の対応について
② 田村 正秋 (一括)	1 町会・自治会について (1)町会・自治会の活性化と加入率について (2)会館の建てかえと土地の更新料の現状について 2 市内米軍ハウスを活用した市のPRについて 3 福祉行政について (1)四種混合ワクチンについて 4 教育行政について (1)中学校の武道導入の取り組み状況について	⑪ 大野 悦子 (一括)	1 プラムボックスウイルス対策について (1)その後の具体的な対策について 2 市の情報発信について (1)情報社会の中で、どのように取り組みを考えているか
③ 柳川 英司 (一括)	1 財政健全化の推進について (1)将来に負担をかけない財政の推進化についての現状と課題について (2)インセンティブ予算制度について 2 「ふっさっ子の広場」について (1)「ふっさっ子の広場」の現状について (2)学校運営や教育活動に変化・影響が生まれたか (3)さらなる充実を図るためには、どのような方向性や環境整備が必要になるか	⑫ 岩崎 百合子 (一括)	1 不妊治療について (1)不妊治療の助成について 2 守るべき弱者の現状と対応について (1)児童虐待について (2)高齢者虐待について (3)障がい者虐待について (4)DVについて
④ 乙津 豊彦 (併用)	1 福祉行政について (1)福祉バスについて (2)視覚障害者へのバリアフリー対策について 2 教育行政について (1)教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (2)子どもたちの「生きる力」の育成について (3)学校図書館の充実について	⑬ 大野 聰 (一括)	1 米軍横田基地について (1)米軍人の綱紀粛正について (2)米軍人の市内での奉仕活動について 2 航空自衛隊横田基地について (1)移駐完了後の活動等について (2)市との情報交換について(地域交流等を含む) (3)自衛隊移駐に伴う基地交付金の算定について 3 次世代モビリティ活用モデル事業(電気自動車、電動アシスト自転車)について (1)電気自動車、電動アシスト自転車の実証実験における利用状況、課題等、今後の見通しについて
⑤ 青海 俊伯 (一問一答)	1 自動販売機設置等の税外収入について (1)現状の自動販売機設置に関する契約等について (2)今後の税外収入の確保と安全安心の観点からの取り組みについて 2 環境行政について (1)先進市で取り組む生ごみ消化機について 3 公園整備について (1)公園の砂場を清潔に保つ施策について 4 片倉跡地の活用について (1)現状について (2)安定的税収・雇用・バリアフリー・地域活性化の視点からの取り組み	⑭ 五十嵐 みさ (一括)	1 ヘルプカードの導入について 2 福生ロケーションサービスについて (1)福生ロケーションサービスの活動概要について (2)主な実績について (3)今後の取り組みについて 3 旧米軍ハウスについて (1)位置づけについて (2)活用について (3)変遷について (4)保存等について
⑥ 清水 義朋 (一括)	1 外来生物への対応について (1)福生市の外来生物の現状について (2)アライグマへの対応について 2 公共施設の防火シャッターについて (1)学校等施設の防火シャッターの危険防止について 3 脳活学習について (1)脳を活性化させる脳活学習について	⑮ 池田 公三 (併用)	1 中学校給食について (1)現行の中学校ランチ方式の検証について 2 小学校給食、中学校ランチの放射性物質検査について (1)東京都学校給食モニタリング事業について (2)食材の産地・放射性物質検査結果の公表について 3 学校における労働安全衛生の推進について (1)この1年間の取り組み状況について (2)定期健康診断における有所見者に対するフォローについて (3)各学校における労働安全衛生についての伝達講習会について (4)福生市学校教職員労働安全衛生規定の制定について
⑦ 杉山 行男 (一問一答)	1 公共施設照明・街路灯等のLED化について (1)蛍光灯、水銀灯などのLED化の状況について 2 多摩川の河床対策等について (1)河床のしゅんせつ等について (2)昭和堰を可動堰にできないか 3 清潔で美しいまちづくりの推進について (1)条例に基づく事業委託の現状と今後の推進について 4 教育センターについて (1)そよ風教室及び教職員研究・研修センター事業について	⑯ 阿南 育子 (一問一答)	1 情報メールについて (1)不審者情報について (2)全体の状況について 2 特別支援教育について (1)障がい児保育について (2)小・中学校の特別支援教育の現状と課題について (3)義務教育終了後の対応について
⑧ 原田 剛 (併用)	1 防災について (1)仮設給水資器材について (2)避難所運営マニュアルについて (3)小・中学校の総合防災訓練参加について 2 交通安全対策について (1)市内の危険箇所について (2)通学路の安全点検について (3)スクールゾーンについて 3 定住化対策について	⑰ 堀 雄一郎 (併用)	1 空き家の適正管理について (1)適正管理の状況について (2)今後の取り組みについて 2 第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会について (1)準備状況について (2)来訪者へのおもてなしについて (3)リハーサル大会について 3 福祉有償移送サービスについて 4 高齢者居住支援について 5 伝統文化を子どもたちに継承する事業の推進について
⑨ 末次 和夫 (併用)	1 収納業務の一元化について (1)市税・国保税・保育料・給食費・市営住宅使用料等の収納の現状について (2)行政改革として収納率の向上・収納の効率化・人件費の削減等の効果について (3)一元化の課題、問題点について (4)今後、取り組みの可能性について	⑱ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)オスプレイの飛来・訓練中止要請について (2)横田基地での危険な訓練の中止を求めることについて 2 国民健康保険税の値上げ中止と引き下げについて (1)若い層直撃の国民健康保険税の増税と増大する人口流出について (2)払いたくても払えない経済実態について (3)国民健康保険の現状について (4)国民健康保険の広域化による負担拡大と健康破壊について (5)市民の生活の守り手として、国民健康保険税値下げの決断について 3 自転車交通の安全標識設置拡大の提案について

委員会の審査から

建設環境委員会

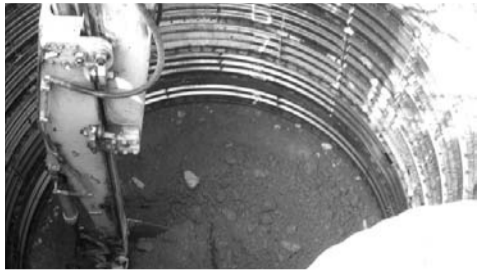
12月11日に委員会が開催され、開会後、日光橋公園の遊具を視察し、その後、議案2件と陳情1件を審査しました。

主な内容は次のとおりです。

◎平成24年度福生市一般会計補正予算(第3号)(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 商工費200万円の具体的な用途については、
答 100%東京都の補助であり、市民会館小ホールでの講演会と消費者セミナーのレベルアップが主なものである。200万円の用途については、講師2名の謝礼金のほか、消費者相談室の備品、消費者保護のカレンダー、パンフレット類の印刷製本などである。

◎平成24年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)
問 立川第2排水区、福東地区幹線の下水道管渠



▲熊川福東地区の雨水幹線整備工事の様子

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案及び、継続審査となっていた陳情の審査が12月11日、12日、13日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。それから、横田基地対策特別委員会、災害に強いまちづくり特別委員会が12月14日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

埋設工事の大幅な契約差金については、また、工事の進捗状況については、
答 約2億1千万円の契約差金については、東京都下水道局の積算基準に基づき積算を行っており、東京都の事前のチェックも受けている。また、請負業者も自社の社員等の施工技術の習得や雇用の確保などを勘案したと聞いている。

以上2件の議案は、原案のとおり可決され、陳情は引き続き継続審査となりました。

市民厚生委員会

12月12日に委員会が開催され、議案4件を審査しました。

主な内容は次のとおりです。

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 国保運営協議会の審議内容、賦課方式を2方式に変更する理由は、
答 保険給付費の伸び等により赤字決算が続く、財源確保のため税率等を国保の広域化への備えや課税の平等性等から賦課方式を変更する。

◎福生市保育所条例を廃止する条例

問 福生市と保育所との関係はどうなるのか。また、すみれ保育園の民営化で、市の財政負担はど

うなるのか。
答 廃止後も、保育の実施主体は市なので、入所の受付審査、決定は行う。財政負担は、3622万1千円が削減される。

◎福生市専用水道事務等の事務委託について
問 今後、福生市から通知等は来るのか。また、事務委託の負担額はいくらか。
答 この委託により事務等は、引き続き東京都が行う。委託による負担額は116万8576円となる。



▲民営化となるすみれ保育園の園舎を視察

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例
問 国保運営協議会の審議内容、賦課方式を2方式に変更する理由は、
答 保険給付費の伸び等により赤字決算が続く、財源確保のため税率等を国保の広域化への備えや課税の平等性等から賦課方式を変更する。

総務文教委員会

12月13日に委員会が開催され、議案4件を審査しました。

主な内容は次のとおりです。

◎福生市組織条例の一部を改正する条例

問 定住化対策の進行管理の方向付けはどのようになるのか。
答 企画部門で定住化対策の進行管理について詳細を詰めている。6月ぐらいに報告できるように考えている。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 一般事務嘱託員として、9区分から統合すると定数管理はどのようになるのか。
答 嘱託職員は、年々増えている。近隣と比較するとまだ少ないが、予算上、人件費となるので、徐々に減らしていきたい。

◎福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

問 市民税均等割の引き上げにより、1359万円増額ということだが、
答 収納率の関係はどのようになっているか。
答 収納対策は、全般的に進めているが、均等割の引き上げも含めて、さらに収納努力をしてい

なければならない。◎福生市一般会計補正予算(第3号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)
問 国有提供施設の関係で歳入が減った詳細は、
答 国の予算は、前年と同額の335億4千万円で、その配分によるものだが、米軍の再編等に伴い、施設の新設、廃止等で資産が変動したこと、建物の減価償却がされていることなどによるもの。



▲国体PR用懸垂幕

以上4件、原案のとおり可決しました。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

行政視察報告

福生市議会では、全国の市町村の特色ある施策を、今後のまちづくりの参考にするため、委員会の視察を行っています。今回は、常任委員会及び特別委員会が先進地の視察を行いました。なお、視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

建設環境委員会

視察目的 ①まちなか再生事業について ②定住促進事業について

視察先 ①富山県滑川市 ②石川県かほく市

視察日 平成24年10月2日(火)～3日(水)

①旧市街地の人口減少及び空き地空き家対策として、平成20年から住宅取得補助や家賃助成の「まちなか居住推進事業」と「市街地空き地空き家活用支援事業」を「まちな



▲滑川市のまちなか再生事業を視察

か再生事業」として行っています。その中で限度額50万円の住宅取得補助事業は35件が活用し、一定の成果を収めています。②まちなかづくりの基本は、人口を増やすことだとの考えから、若年層人口の拡大によるまちの活性化を目指し、平成22年度より「定住化促進事業」を行っています。その中で「若者マイホーム取得奨励金事業」は、45歳未満の方が市内で一戸建て住宅(50㎡以上)を新築、又は購入した場合、最大で100万円の建設奨励金を交付する制度で、3年間で170件、定住者数608人(転入者数223人)と大きな成果を収めています。費用対効果の問題を含め、参考になる視察となりました。

市民厚生委員会

視察目的 ①多職種協働による地域医療連携について ②市民後見推進事業について

視察先 ①広島県尾道市 ②岡山県岡崎市

視察日 平成24年10月4日(木)～5日(金)

①尾道市は在宅退院時な

前頁からのつづき

も重要ということが確認できました。

総務文教委員会

どに「ケアカンファレンス」を15分間行い、患者と家族、医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャー、ヘルパー、医療機械販売業者、時には歯科医師、民生委員等がそこに出席していました。コミ

ユニケーションを深めることで、患者・家族の退院時の不安解消、医療と介護の質の向上に役立てていきました。



▲尾道市の地域医療連携を視察

②笠岡市は認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加に伴い、よりきめ細かな日常の見守りを兼ねた身上監護を行う必要性を認識、弁護士などの専門職後見人以外の市民後見人を中心とした後見人等による支援体制づくりに先駆的に取り組んでいました。国のモデル事業の視察を通し、市民後見人の養成には丁寧な時間をかけて行う必要があること、成年後見制度の市民への周知普及が、何より

視察目的 ①予算の効率化について②教育行政について

視察先 ①岐阜県美濃加茂市②岐阜県多治見市

視察日 平成24年10月17日(水)～18日(木)

①全国的にも予算の厳しい状況の中で、使いきりではなく、いかに予算を

残すか工夫をし、自主財源確保の取り組みをしている美濃加茂市を視察しました。効率よく予算運営に努めた部署には、翌年度予算の加配をするものでインセンティブ予算と呼ばれ、その効果は職員

の予算意識に強く表れる仕組みを学びました。

「人と防災未来センター」

②愛知県豊橋市

視察日 平成24年7月3日(火)～4日(水)

①「人と防災未来センター」は福生市で想定されている立川断層帯と同じ直下型地震があった阪神

淡路大震災の経験を伝え、最新の研究内容をわかりやすく展示し、世界に発信しています。

こうした施設は、福生市を含め全国の自治体が大いに活用して、子どもたちや市民の防災意識の啓発にできるのではと感じました。

②集中力を高めなおかつ基礎学力の向上に向けた取り組みを行なう多治見市の脳活学習について視察を行いました。朝学習などの時間を活用し、多



▲多治見市立養正小学校の授業を視察

機能タブレット端末やオリジナルのフラッシュカードを利用し、リズム、スピード、タイミングを重視し指導を行うもので、算数の計算、漢字の読みなどを非常に速い展開で出題し、クラス全員がそろって答えを大きな声で返す。この繰り返しの中で教員は的確に声掛けを行うことで、自己肯定感が高まり、IQの向上に効果が出る様子を学びました。

②豊橋市の自主防災組織はすべての町会・自治会で結成されています。そして、小学校区ごとにこの自主防災組織や各種団体が参加して校区防災連絡協議会を形成し、ここに学校も参加しています。

災害に強いまちづくり 特別委員会

視察目的 ①阪神・淡路大震災から得た教訓について②防災コミュニティの推進と地域の絆づくりについて

視察先 ①兵庫県神戸市

②愛知県豊橋市

視察日 平成24年7月3日(火)～4日(水)

①「人と防災未来センター」は福生市で想定されている立川断層帯と同じ直下型地震があった阪神

淡路大震災の経験を伝え、最新の研究内容をわかりやすく展示し、世界に発信しています。

こうした施設は、福生市を含め全国の自治体が大いに活用して、子どもたちや市民の防災意識の啓発にできるのではと感じました。

②海上自衛隊呉地方隊及び第一術科学校



▲豊橋市の防災コミュニティの推進を視察

普段から研修・協議が行われていて、実効性のある防災対策組織として大変参考になりました。

横田基地対策 特別委員会

視察目的 ①呉市における基地関連施設の概要について②米軍・自衛隊の市への影響について③市民や関係諸団体との交流策・情報提供について

視察先 ①広島県呉市

②海上自衛隊呉地方隊及び第一術科学校

視察日 平成24年10月23日(火)～24日(水)

呉市の米軍は、弾薬庫のみで人数も38名だけというところで、影響や市民

感情はないとのこと、自衛隊は戦前から海軍工廠があり、その歴史を引き継いでいます。また、戦艦大和を造船した技術が活かしているまちです。



▲呉市海事歴史科学館を視察

自衛隊施設は公共用地として利用価値の高い所にあり、平地が少ない呉市にとってはまちづくりの阻害要因となっています。自衛隊と市民の交流は活発で祭りへの参加はもちろん、音楽隊が中学の吹奏楽クリニックなども行っているとのことでした。

②豊橋市の自主防災組織はすべての町会・自治会で結成されています。そして、小学校区ごとにこの自主防災組織や各種団体が参加して校区防災連絡協議会を形成し、ここに学校も参加しています。

視察目的 ①阪神・淡路大震災から得た教訓について②防災コミュニティの推進と地域の絆づくりについて

視察先 ①兵庫県神戸市

②愛知県豊橋市

視察日 平成24年7月3日(火)～4日(水)

①「人と防災未来センター」は福生市で想定されている立川断層帯と同じ直下型地震があった阪神

淡路大震災の経験を伝え、最新の研究内容をわかりやすく展示し、世界に発信しています。

こうした施設は、福生市を含め全国の自治体が大いに活用して、子どもたちや市民の防災意識の啓発にできるのではと感じました。

②海上自衛隊呉地方隊及び第一術科学校

視察日 平成24年10月23日(火)～24日(水)

呉市の米軍は、弾薬庫のみで人数も38名だけというところで、影響や市民

感情はないとのこと、自衛隊は戦前から海軍工廠があり、その歴史を引き継いでいます。また、戦艦大和を造船した技術が活かしているまちです。

自衛隊施設は公共用地として利用価値の高い所にあり、平地が少ない呉市にとってはまちづくりの阻害要因となっています。自衛隊と市民の交流は活発で祭りへの参加はもちろん、音楽隊が中学の吹奏楽クリニックなども行っているとのことでした。

特別委員会活動から

災害に強いまちづくり 特別委員会

12月14日に委員会を開催しました。

初めに、明神下公園内震災対策用応急給水施設の現地視察を行いました。

この施設には、市民8日分の飲料水が常に新鮮な状態で確保されています。東京都水道局の職員から説明を受けた後、施設内を見学しました。また、実際に応急給水資器材を使った給水の実演なども含めて一時間にわたって詳しく調査することができました。

その後、委員会を再開し、現地視察を踏まえて質疑を行いました。

・施設の運用について訓練はしているか。

・この施設を活用した訓練を市民が実施できるか。

・この施設を活用した訓練を市民が実施できるか。

次に、災害に強いまちづくり特別委員会中間報告書(案)について、委員会を確認された後に、本会議で中間報告がされ、報告書中の提言書について可決されました。

この提言書については、市長に提出されました。

次に、7月に実施した行政視察の報告書について協議し確認されました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

10月、11月に行われた訓練状況、横田基地の有志による市内の清掃活動、

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

横田基地対策 特別委員会

12月14日に委員会が開催され、議案3件について協議を行いました。

1. 5市1町による総合要請について

横田基地周辺市町基地対策連絡会が行った「平成24年度横田基地対策に関する要望書」について説明がありました。

今まで、21時から22時まで及び6時から7時までの飛行を極力行わないよう求めていたが、今回から20時から22時、6時から8時に内容を見直すとともに、MV22オスプレイの横田基地への飛来及び、災害準備・対応のための現地実地協定の締結についてを新たに加えて、要請したとの説明を受けました。

2. 東京都が実施した航空機騒音調査結果について

平成23年に東京都が実施した調査結果がまとめられ、本委員会に報告されました。

3. 横田基地に関する情報等について

10月、11月に行われた訓練状況、横田基地の有志による市内の清掃活動、米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

米軍人の外出禁止令などの報告がありました。

編集後記

例年この議会だよりでは各委員会で行った行政視察の報告が行われます。前のページのリード文にもあるように、行政課題に対して先進地に向き、実際に事業を見えます。我々議員にとって何にも代え難い貴重な情報収集の機会となります。◆常任委員会は毎年、特別委員会は隔年実施しますが、今年も特別委員会も視察を行いました。概要は議会だよりでお伝えしていますが、詳細は報告書にまとめ、市議会ホームページで公開しています。また、実施できそうな事業に関して一般質問も行われました◆当市にも全国各地の議会から視察に見えます。昨年度は19の議会から来庁されました。この議会でも議会改革に取り組んでいて、議場の設備、議事録作成システム、インターネット中継や一般質問の方法など議会運営に関わる視察も多くあります。ある意味では先進市として認められていくといえます。今後も議会改革に取り組んでまいります◆今年の冬はことさら寒いよう、庭の霜柱の茎にも大きな氷の結晶ができます。風邪など引かないようご自愛ください。